

BAKW バックアップ手順書 (1)

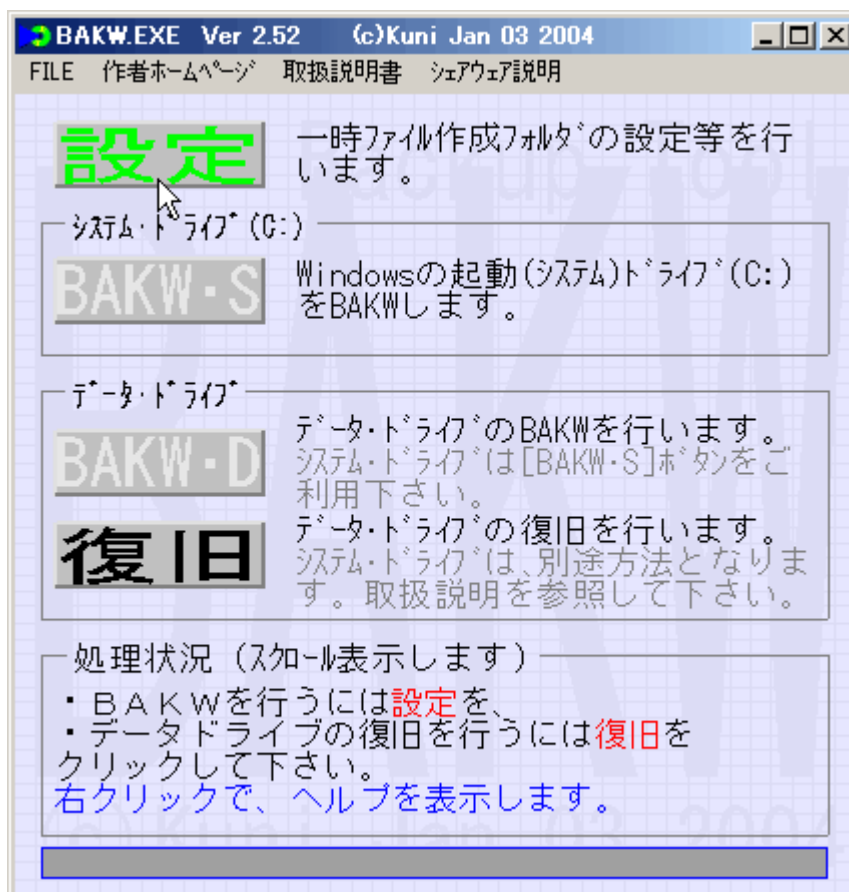
(c)Kuni 2004/01

BAKWを利用したバックアップのサンプル

以下の設定でBAKWを実施します。

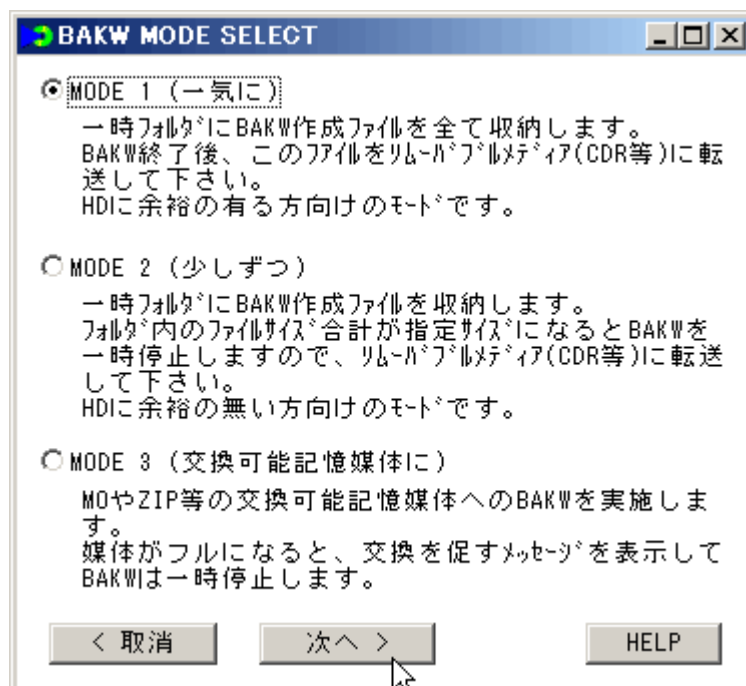
バックアップOS : ウィンドウズXP
 ファイルシステム : FAT32
 元ドライブ : HDD C: (システムドライブ)
 バックアップ先 : HDD D: ¥BAKWDATA¥
 バックアップモード : MODE 1 (一気に)
 強制読み込み機能 : 利用する

この取扱説明書は、実際のBAKW操作画面をキャプチャーしたものです。間違いは無いと思いますが、ミスがあった場合等、一切保証は有りません。作者に瑕疵がある場合も保証致しかねますのでご了承下さい。

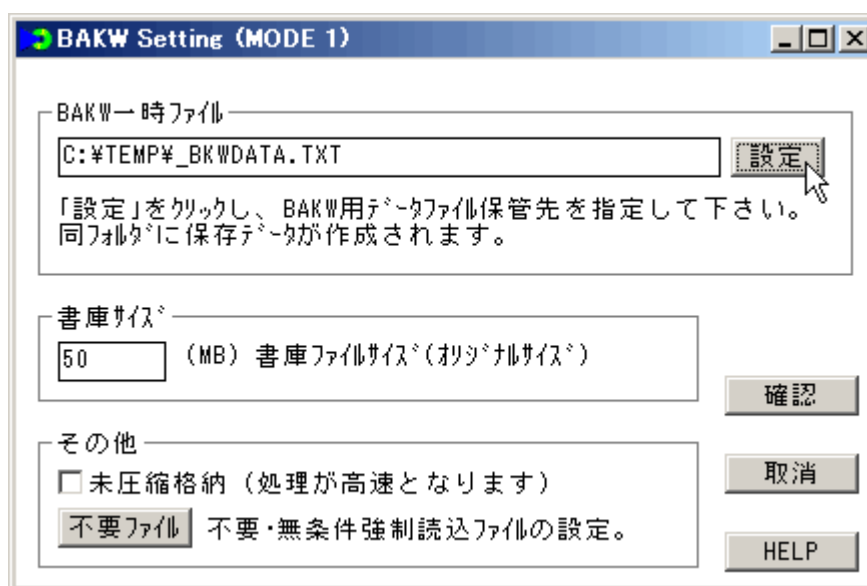


BAKW起動後、各種設定を行います。

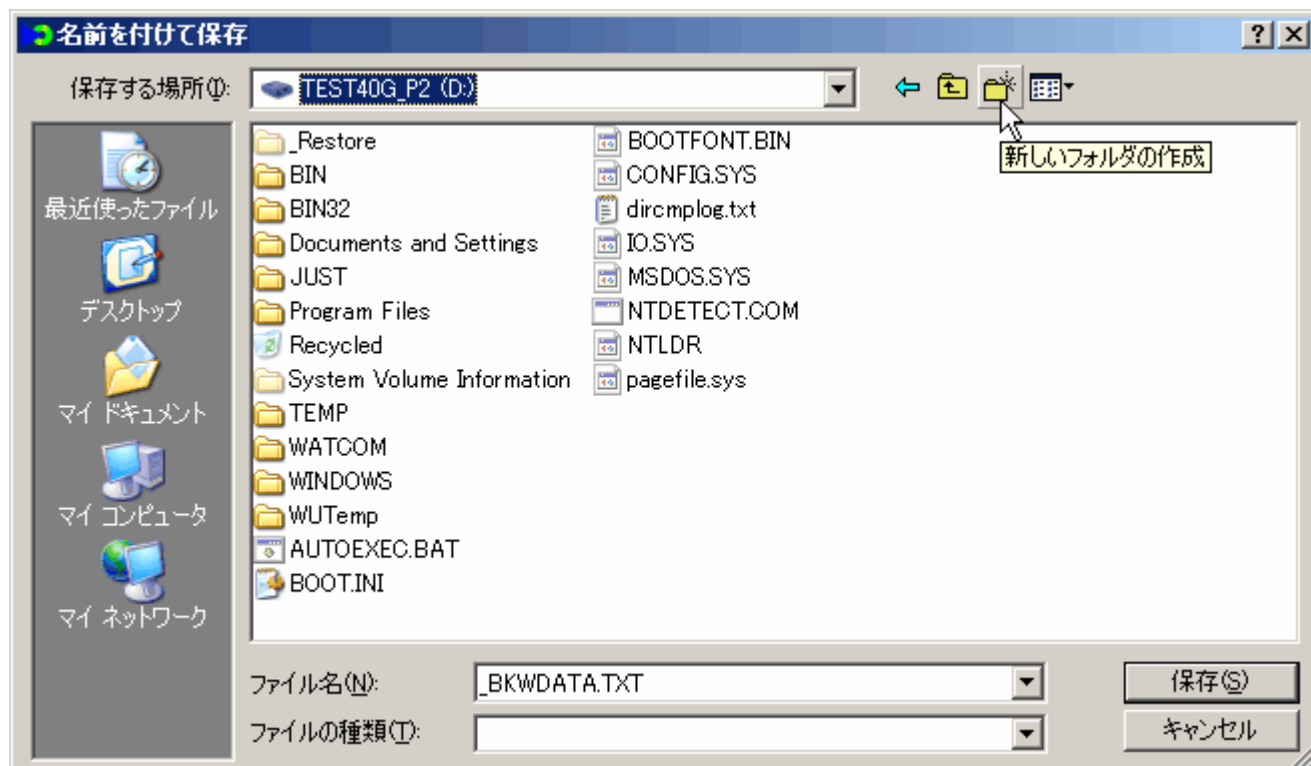
[設定]ボタンをクリックして下さい。



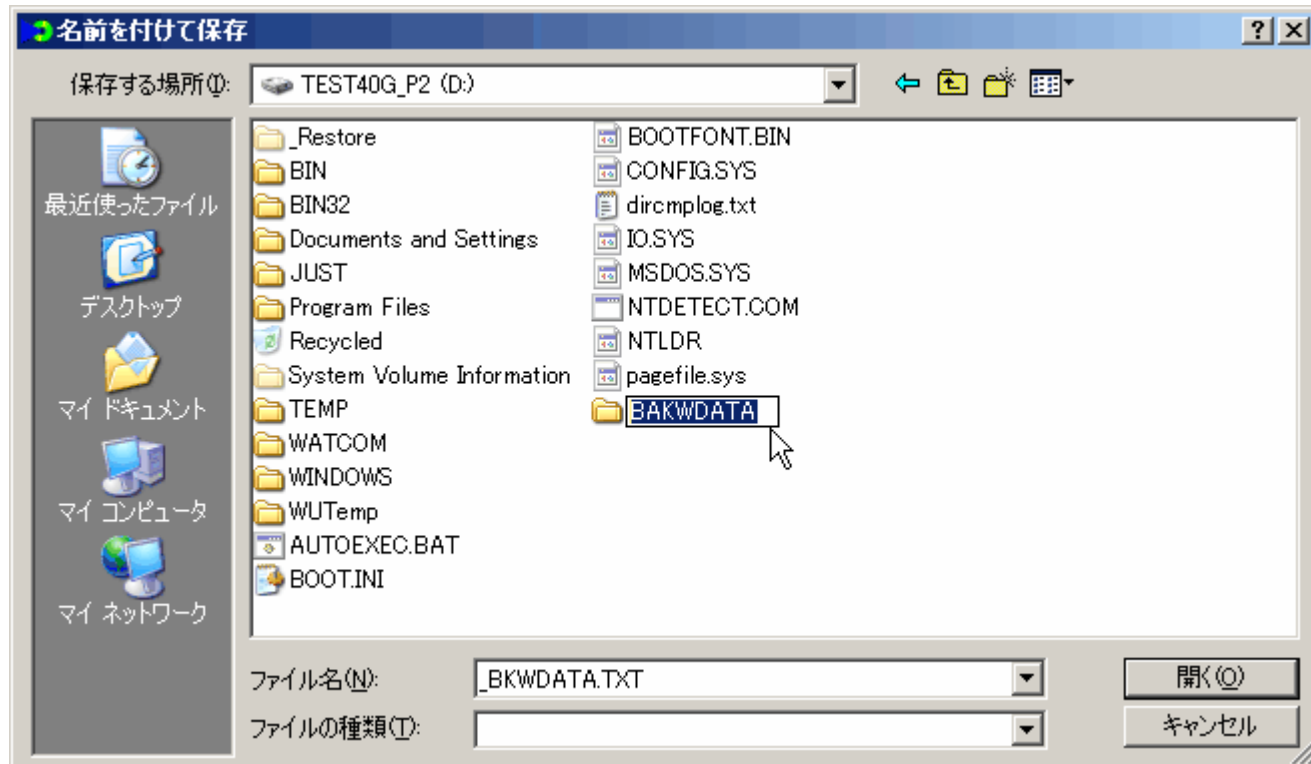
モードを設定します。
このサンプルでは、バックアップ先HDに十分余裕が有りましたので、
MODE 1を利用しました。
モードを設定後、[次へ >]をクリックしてください。



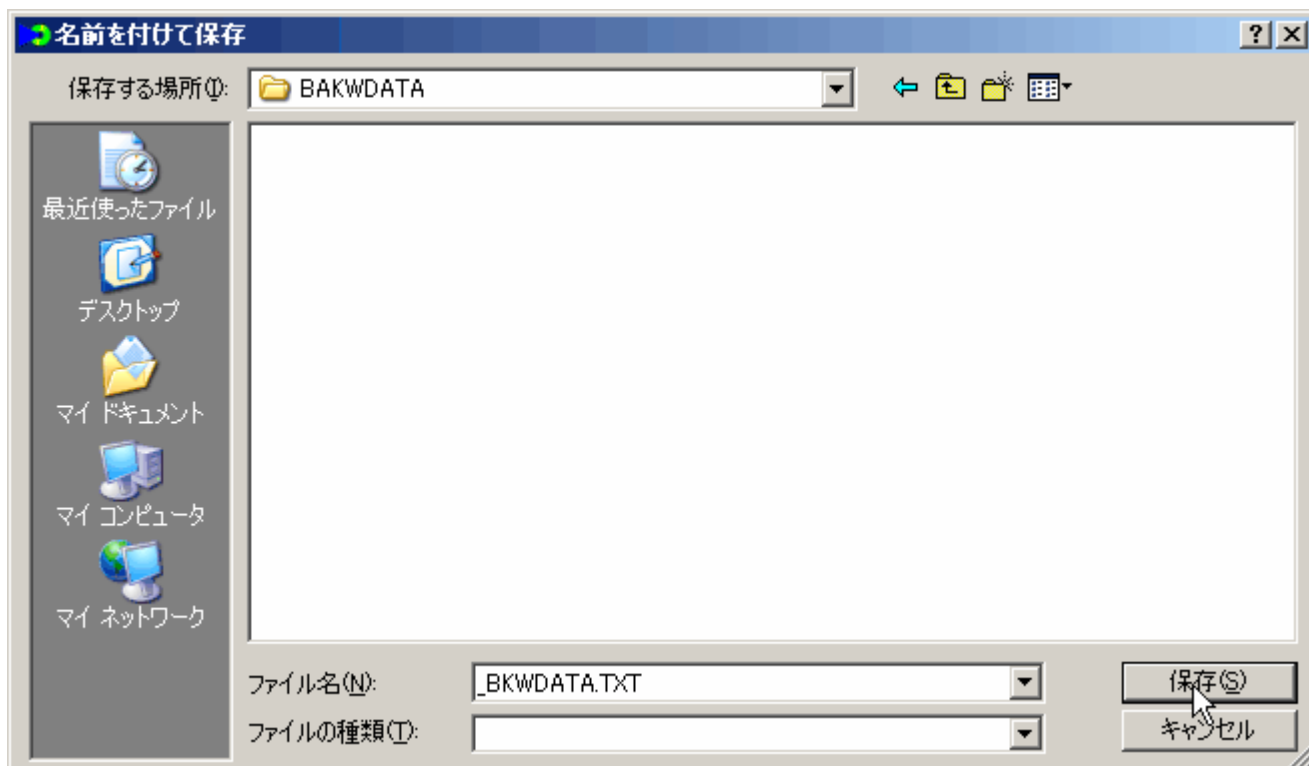
バックアップ先のフォルダを設定します。
[設定]ボタンをクリックして下さい。



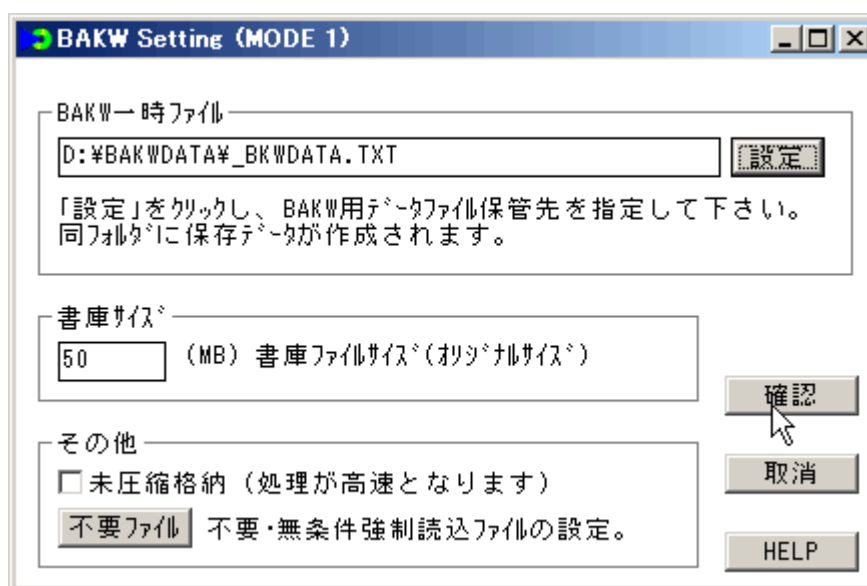
D:ドライブに移動し、
新しいフォルダの作成[アイコン]をクリックし、
新たにフォルダを作成します。
既にBAKWのデータ保存先フォルダが存在する場合は、作成不要です。



新たなフォルダの名前を「BAKWDATA」としました。

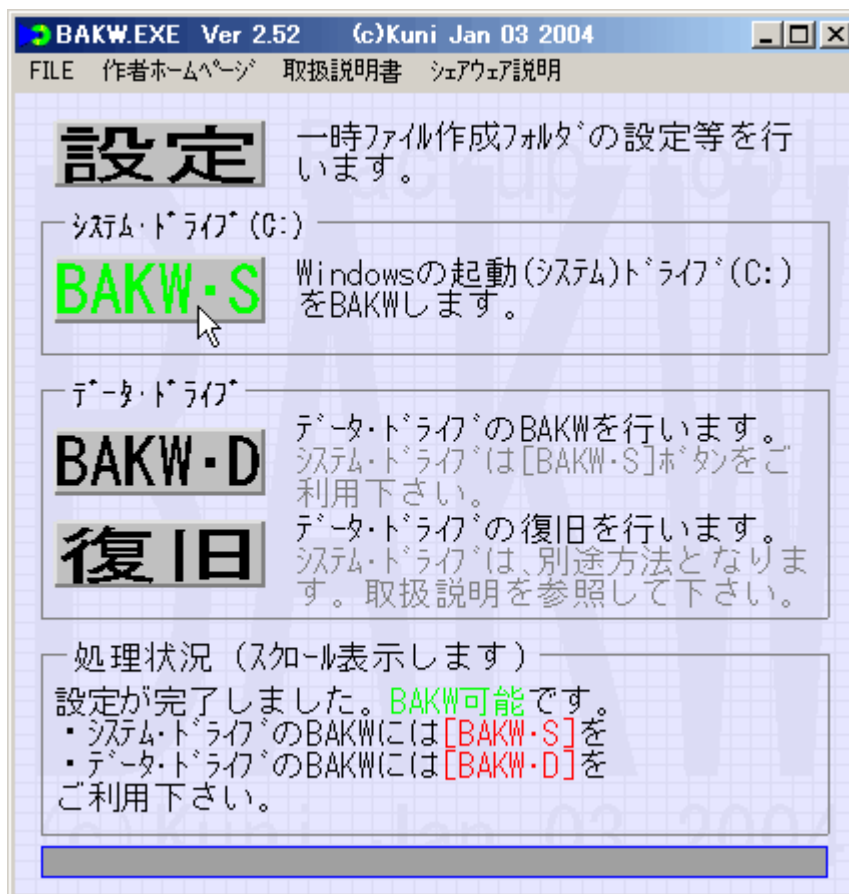


「D: ¥ BAKWDATA」に移動し、**[保存(S)]**をクリックします。

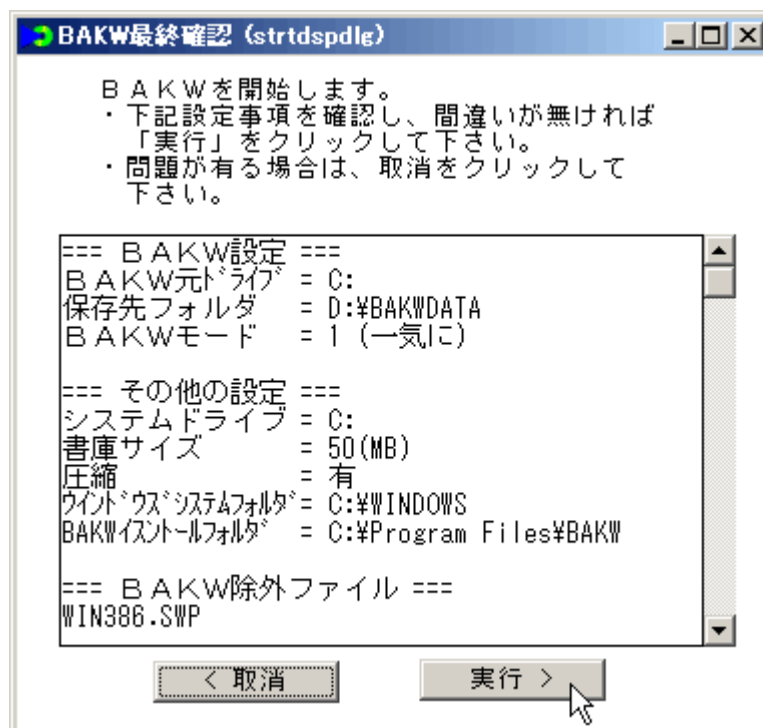


設定欄の保存先に間違いが無いことを確認の上、**[確認]**をクリックして下さい。

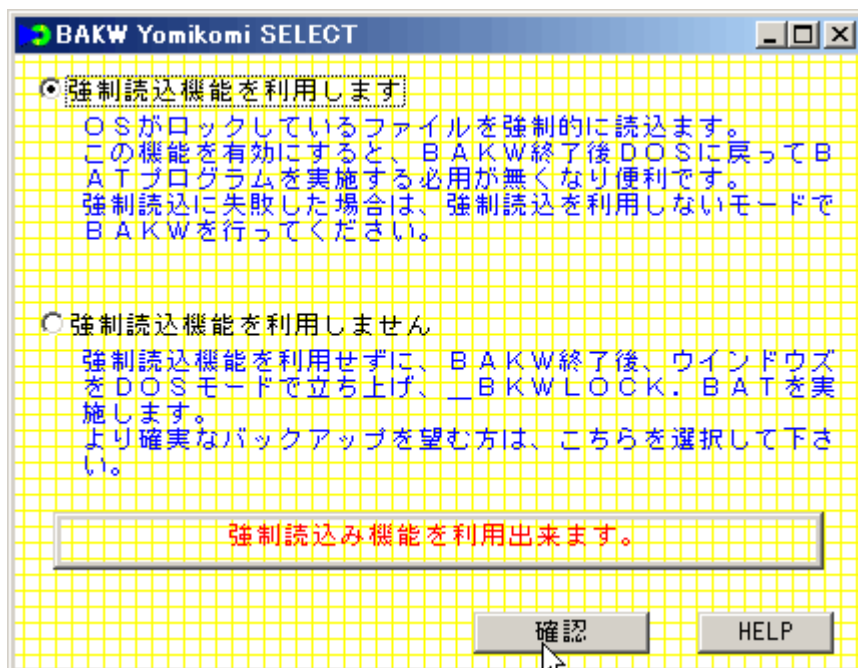
- ・[未圧縮格納]をセットすると、バックアップデータを圧縮せずに保管します。
- ・[不要ファイル]をクリックすると、バックアップ不要ファイル等の設定を行うことができます。
- ・この機能は、登録済ユーザ専用のエキスパート機能です、初心者の方は、標準のままご利用下さい。
- ・「_BKWDATA.TXT」は、バックアップデータを復旧時に利用するデータベースファイルの名称です。
バックアップファイルは、_BKWDATA.TXTと同一フォルダに作成されます。



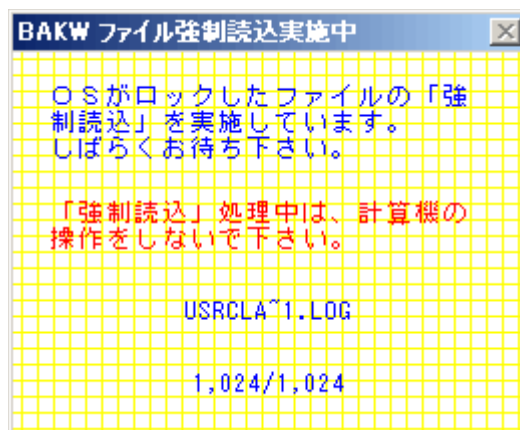
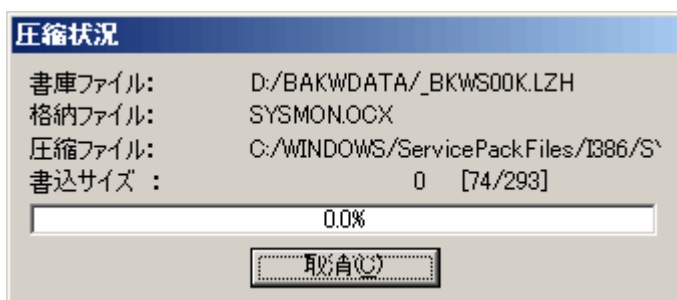
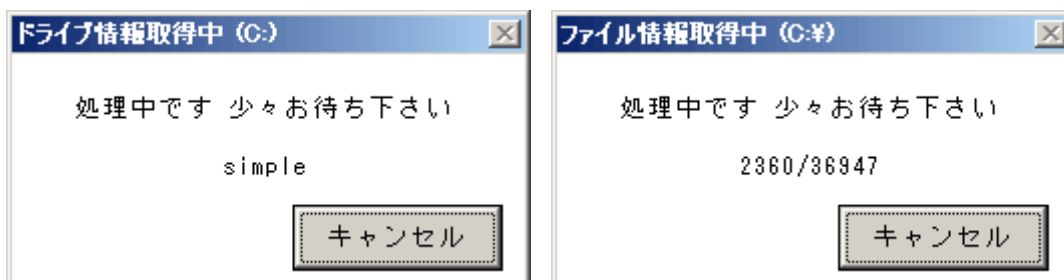
設定が完了したので、バックアップを開始します。
 システムドライブのバックアップですので、
[BAKW-S]をクリックして下さい。



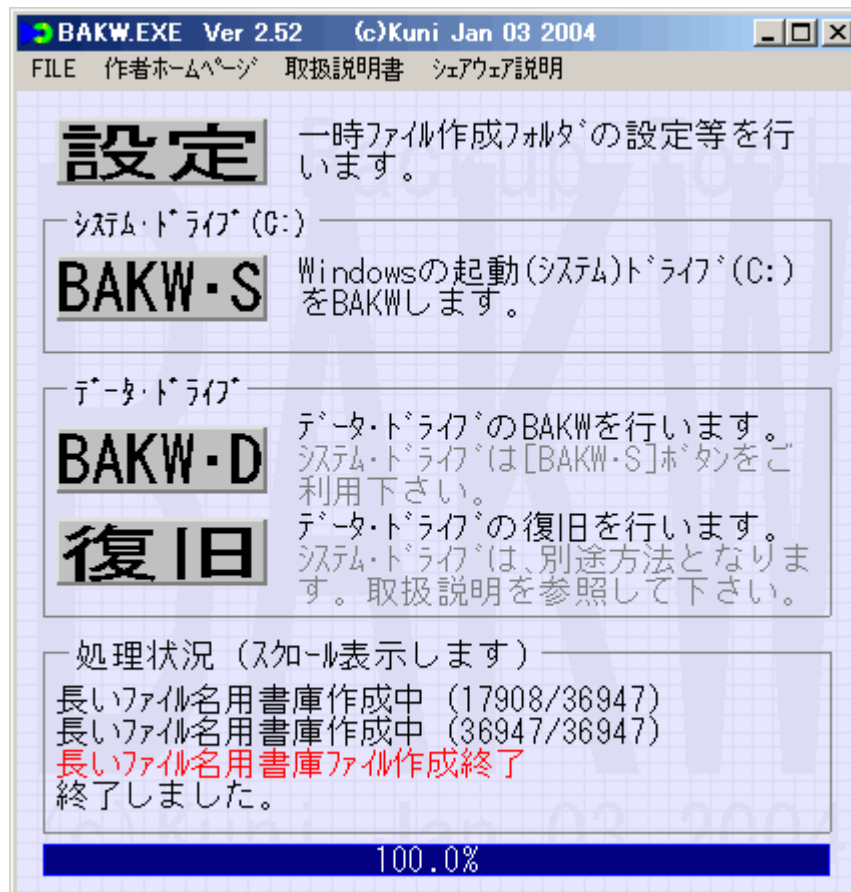
設定情報の確認画面が表示されますので、確認後
[実行 >]をクリックして下さい。



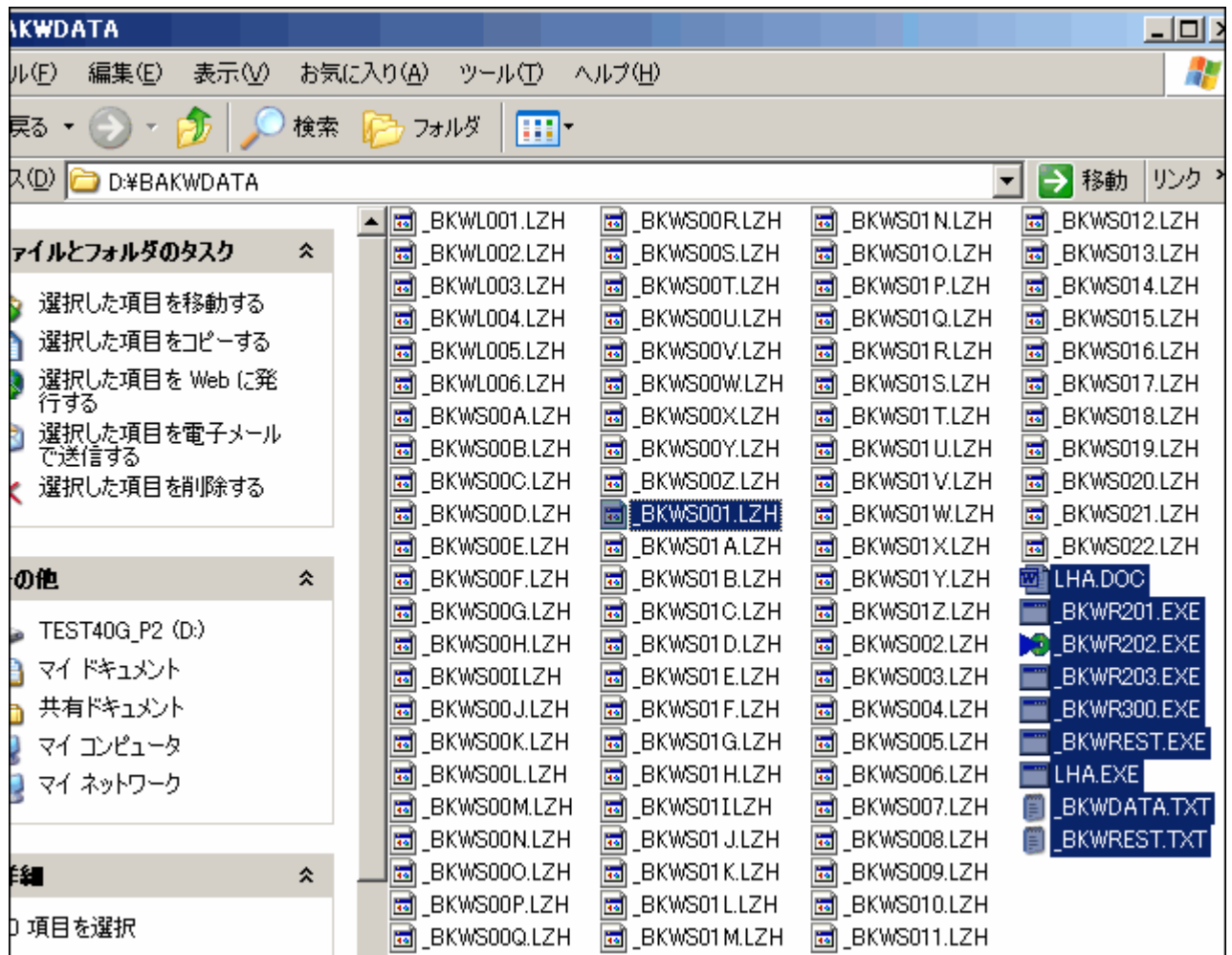
ウィンドウズNT / 2000 / XPで強制読み込みが利用出来る場合、強制読み込み機能を利用するかの問い合わせ画面が表示されます。
[強制読み込み機能を利用します]のマークを確認の上
[確認]ボタンをクリックして下さい。



- ・ドライブ情報を取得
- ・引き続きファイル情報を取得します。
- ・ファイル情報取得が完了すると、バックアップ開始ですのんびりとお待ち下さい。
- ・強制読み込み実施時は、黄色い画面が表示されます。特に、強制読み込み中は、計算機操作は行わないで下さい。



無事終了しました。
作成されたバックアップデータをCD - R等に格納保存して下さい。



上記画像が、作成されたファイル一覧です。
 CD - Rに焼付ける等で**分割する場合は**、色のついているファイルを一枚目に格納して下さい。他のファイルは何枚目でもOKです。
 詳細は、取扱説明書を参照下さい